

会議名	平成 30 年度第 1 回青森市景観審議会
開催日時・場所	平成 30 年 5 月 31 日(木) 10 時～11 時 青森市役所 柳川庁舎 2 階 大会議室
出席者	<審議委員> 阿部 哲 委員、安保 照子 委員、香取 真理 委員 金子 由紀子 委員、斎藤 嘉次雄 委員、鹿内 文子 委員 玉熊 訓 委員、千葉 滋 委員、長尾 誠 委員 森内 忠良 委員 <事務局> 都市整備部 部長 大櫛 寛之 理事 長井 道隆 次長 岡山 幸司 都市整備部都市政策課 課長 坂牛 裕、副参事 遠嶋 祥剛 主幹 田中 大雄、主査 木村 康司 主事 北山 賢臣 教育委員会事務局総務課 参事総務課長事務取扱 奥崎 文昭 (事業担当課) 副参事 鹿内 春樹、主査 塩越 智之 都市整備部建築営繕課 課長 星出 正廣、主幹 佐藤 明文 主査 中堤 康行
欠席者	竹浪 比呂央 委員、田村 孝子 委員
担当課	案件 青森市立西中学校校舎等改築事業【設計段階】 【資料】青森市立西中学校校舎等改築事業【設計段階】に基づき説明。
委員	木材をふんだんに使用するとあるが、どこに使うのか。床や壁、構造材などか。 次に、植栽について、桜の種類は何になるのか。また、コナラは景観だけではなく、生態的のことも考慮して選んだのか。
担当課	木材については、青森県の主な木材である杉やヒバ、アカマツなどの県産材の使用を想定しており、場所は、昇降口や多目的ホールなど、大規模な空間を有する場所を想定しているが、床材や腰壁など、どこに使用するかは、現在進めている実施設計の中で検討していく。 また、植栽計画について、桜とコナラの樹種についても実施設計の中で、学校の

	方とも協議しながら、決定していく。
委員	桜は、シンボルツリーということですので、重要であると思うが、相当の種類があり、花の色もピンクだけではなくて、白い花のものもある。 今からイメージなどを学校と話し合った方がいいかと思う。
委員	学校は、生徒の生活の場であり、周辺の地域の方にとっては、毎日見るものである ので、奇抜なものではないと思う。 計画の中で、アクセントとしてスクールカラーを使用すると書かれているが、学校の方で、スクールカラーを使用したいという要望があったのか。
担当課	計画については昨年度から学校の方とも協議しているが、その中で、スクールカラーのえんじをどこかに使用していただきたいという要望があったことから、今回提案したものになっている。
議長 (会長)	どの学校でも、スクールカラーはお持ちだと思うが、あえて外装に使用するというのは、設計側に特別な意味や思いなどがあって、そうなったのか。
担当課	学校の要望もあったことと、建物が東西に長い形状で、住宅地も近接していることから、水平線を強調することで、スッキリとした印象のデザインをしたいという考えから、帯状にアクセントとしてスクールカラーを使用することとした。
委員	位置図を見ると、周りに小学校、中学校、高校がすごく多くある。1つの学校がスクールカラーを使用すると、他の学校に波及していかないかと考える。スクールカラーにそんなに固執しなくても、スッキリしたデザインが出来るのではないかと思う。
担当課	繰り返しとなるが、学校との協議の中で、スクールカラーを使用してほしいという要望があったことと併せて、今の計画している建物が東西に長い形状なので、アクセント色として、帯状とした。
委員	市民との交流という事で、交流広場が設置されているが、校舎、学校敷地内への出入口は、北側の1カ所だけか。 また、西中学校の敷地は、フェンスで囲っているような感じがするが、複数の

	出入口を想定しているのか。
担当課	生徒、教職員などの歩行者は、北側の道路から入ることになる。また、西側にある体育館の横、こちらからも人が入ることが出来る。人は北側と西側の方から入れる計画としている。 車両は、同じく北側と南東方向の浪館福祉館のある道路から入ることになる。
議長 (会長)	現在とほとんどアプローチは同じということか。
担当課	はい。
委員	大変いい計画であり、色彩も大変よく出来ていると思う。 コナラについて、校舎に近いところに計画されているが、成長はどうなのか。低い方の木なのか、年数経っても大きくなるのか。校舎の近くなので、木が大きくなって、枝が茂ってくると、教室、あるいは外の広場の景観にいいのかどうか。私は低木の方がいいと思うが、いかがか。
担当課	コナラについては成長が早いので、計画的に剪定をして、枝ぶりなどを管理していく必要があるものと考えている。
委員	コナラは自然木であるので、剪定でかたちを整えるものではないのではないか。 また、広場で催しものがあつた時、日陰となるなど活用方法もあるため、コナラはここに必要だと思う。
担当課	交流広場の利用方法を含めて、コナラの維持管理等については、実施設計の中で、学校の方と相談した上で、検討していく。
委員	周辺の景観などにも大変配慮した、素晴らしい学校の設計が出来たと思う。 景観に配慮した校舎が出来た後に、例えば中体連で優勝したなど、様々な看板や表示がされることがあるかと思うが、実施設計の時に、一定の基準のようなものを整理していければ、他の学校などでも統一したものが出来るとも思う。また、室内などのサインの展開の中で、生徒が大人になった時に、様々な公共施設や建物の中で認識が出来るよう、ユニバーサルデザインに配慮した表示物を作っていただければと

	思う。現在、本庁舎や他の学校の建設も進んでいる中で、統一性があれば非常にいいと思う。
委員	配置図に関して、まず、1 つ目が、防球ネットについて、高さや色、風が吹いた場合の音の状況など、どう考えているか。 2 つ目が、門柱について、学校の入口に学校名を書いた門柱があると思うが、場所はどこになるのか。 3 つ目が、浪館福祉館と校舎側敷地内との区切りについて、ブロック塀など何か立つのか。 4 つ目が、福祉館と校舎の間の道路に、一般市民が入らないようにゲートなど、何か設置するのか。 5 つ目が、人工木デッキについて、人工木デッキと多目的ホールの間仕切りについて、オープンデッキみたいになるのか。 最後、6 つ目が、校舎の周りがグリーンになっているが、それは芝生なのか、確認したい。
担当課	防球ネットは、平成 36 年に予定している屋外環境整備、グランド整備の中で設置するので、その前年度の屋外環境整備の設計時に、高さなど、音の関係も含めて、検討していく。 門柱の位置について、現在、北側の入口に計画している。 校舎の東側の福祉館との境界については、境界にはブロック塀、フェンスなどについて設置が必要と考えている。 福祉館の南側の市道から入る道路には、車止めのポールを 2 本立てて、緊急時、救急車などが通る時は、そのポールを下げて通行させるとの考えを持っている。 人工木デッキと校舎の間について、当然、校舎からデッキに出入り出来るような出入口を考えている。 最後に校舎、屋内運動場の南側の緑色の部分は、まだ決定ではないが、実施設計の中で、芝生等による緑化について決定していきたい。
委員	今回の計画の中で、交流広場を設けたのは、画期的であると思う。 最近、学校は不審者の出入りなどがあるので、防犯に厳しくなっているが、これからは地域住民と学校とのつながりを強くし、地域で子どもたちを見守っていくことが大切であると思うので、これは大変いいことだと思う。

	交流広場には、デッキがあり、座れるところもあって、本当によいと思う。 また、夏に熱中症にならないためには日陰が必要なので、樹種についても配慮していただければと思う。 そして、何より地域住民の協力を得て、花壇などの整備をしていただいたら、いいのではないかなと思う。
議長 (会長)	本日の案件については、当審議会として意見の無いものとしてよろしいか。
委員	(異議なし)
議長 (会長)	異議がないようなので、本日の案件について、意見の無いものとする。
	<終了>